

中村麻美プロフィール2019

画家・挿画家。

三重県津市生まれ。三重県立津西高校、津田塾大学卒。大学在学中、深層心理学をメソッドに日本人の精神性を研究、日本画塾で作画の基礎を学ぶ。英語個人教授業、NHKBSニュースキャスター、絵本翻訳業を経て日本の心を伝えるメディアとして絵画を志す。書籍、雑誌、新聞、テレビ番組等で歴史物、武人画、創業者等の挿画を手がけ、近年は歴史上の人物の本画作品制作にも新境地を開く。

(公財)日本武道館発行月刊『武道』表紙絵「伝えたい日本のこころ」シリーズ(企画ならびに絵と文2007～)では、語り継がれるべき日本人のよい行い、精神伝統を伝える物語を描く。作品を通して、日本人の心の深層に宿る、誰もが共感できる善なる心のようなものをよびさます仕事、特に若い世代への語りかけに注力し、各地で個展、挿画展ならびに講演活動を行っている。2018年10月、日本武道館内に「伝えたい日本のこころ」原画展示コーナー開設。オリンピックのために建設中の日本武道館新道場に100号本画作品を制作中。

1986年度ミス日本グランプリ受賞。東京都在住。

最近の主な展覧会

- H26 三重県立斎宮歴史博物館「斎王と伝えたい日本のこころ」展
- H27 ホテル椿山荘アートギャラリー「伝えたい日本のこころ原画展」
- H28 長岡まちなかミュージアム2016中村麻美の世界「伝えたい日本の心と美」
- H29 萩市(公財)熊谷美術館「松陰先生と伝えたい日本のこころ」

主な仕事

NHK大河ドラマ原作・新聞小説「天地人」(新潟日報ほか全国15紙掲載 火坂雅志作 2003-2006) 挿画全460回、「喜平次景勝与六兼統 修学図」(雲洞庵所蔵2008)、「天地人丸紋絵巻」(兼統お船ミュージアム所蔵2009)、「直江兼統」(新潟県立図書館所蔵2011)、「斎王」(三重県立斎宮歴史博物館所蔵2012)、エム・ケー株式会社花暦(2012～) 新聞小説「吉田松陰 大和燦々」(山口新聞ほか掲載 秋山香乃作 2012-2013) 挿画全197回、新聞小説「龍が哭く河井継之助」(新潟日報ほか掲載 秋山香乃作 野村胡堂文学賞受賞2015-2016) 挿画全347回、大型絵本「伝えたい日本のこころ」(公益財団法人日本武道館発行2016)、NTT東日本法人向けウェブサイト経営ラボ連載挿画「武将の失敗学」(2017-2019)、「土浦つくば三十六景」(2018) 福井新聞週刊大型連載小説挿画「鸞 翔ぶ」(加来耕三作2018～2019) 挿画、ほか多数。

